

3、歸途中~101~歷史的刻痕何在？現代~台北人的目光：迎向未來。對比

四人踏上歸途，遠望夜空中閃亮的 101 大樓。對照淡水的山景，顯得台北的摩天高樓，分外醒目。

【A1-12】

淡水からの帰り道。四人は、夜空に輝く台北 101 ビルを眺める。
淡水とは対照的に、台北の林立する高層ビルが目を引き。

<p>Nana：台北爲什麼要興建 101 大樓？</p> <p>A-ku：沒研究過。A-may，妳知道嗎？</p> <p>A-may：好像，是爲了讓台北有一座地標。</p> <p>阿丁：通常，城市的地標，應該是用來顯示城市的歷史。</p> <p>A-ku：原來，我們蓋 101，是用來創造台北的歷史？</p> <p>Nana：台北的歷史起源，就在淡水嗎？</p> <p>A-ku：台北的開拓史，是從港口開始的。</p> <p>阿丁：嗯，淡水、艋舺，應該都是吧！</p> <p>A-may：沒想到，你們比台北人還要關心台北的起源。</p> <p>Nana：如果你們去了一個陌生的地方，大概也會問同樣的問題吧！</p> <p>A-may：嗯，有道理。</p> <p>A-ku：但是，我發現，這幾年我們太重視開發城市的功能。卻忘了保留城市的歷史。</p> <p>阿丁：歷史是很容易被人遺忘的。</p> <p>A-may：難怪國外的城市都很積極的保留自己的歷史。</p> <p>Nana：把城市的現代跟歷史做對比的時候，就會更深刻地感受到文明的進展。</p> <p>阿丁：我發現，無論台北的過去與現在，似乎都充滿了多元文化的刻痕。</p> <p>A-ku：是啊，未來看台北，就會發現，今天的台北人裡，還有</p>	<p>Nana：「台北 101 はどうして建てられたの？」</p> <p>A-ku：「知らないなあ。A-may、知ってる？」</p> <p>A-may：「台北の象徴になるもの、ということらしいわよ。」</p> <p>丁：「都市の象徴というのは、その都市の歴史を現しているとも言えるね。」</p> <p>A-ku：「なるほど。じゃ、101 が建てられたのも、台北の歴史を創るため？」</p> <p>Nana：「台北の歴史は、淡水から始まったの？」</p> <p>A-ku：「台北は、港から開拓されていったんだ。」</p> <p>丁：「うん。淡水だけじゃなくて、艋舺もそうだね。」</p> <p>A-may：「デオンさんってすごい。台北の歴史について、私たちよりもいろいろ知っているのね。」</p> <p>Nana：「知らない土地に来たら、だれでも、その歴史を知りたくなるんじゃないかしら。」</p> <p>A-may：「そうね、確かに。」</p> <p>A-ku：「でも、ここ数年は、都市開発を押し進めてきたために、伝統の保存は後回しにされてきたようだね。」</p> <p>丁：「過去は忘れ去られやすいものだからね。」</p> <p>A-may：「だからこそ、今、多くの国が、歴史保存の事業に懸命に取り組んでいるのね。」</p> <p>Nana：「都市の昔と今とを比べれば、文化がどのように発展してきたか、もっとはっきりと分かるんじゃないかしら。」</p> <p>丁：「台北は、昔から、多様な文化を受け入れてきたようだね。」</p>
--	---

<p>不少外国人來跟台北一起創造歷史呢！</p>	<p>A-ku：「そうなんだ。後になってから、今の時代を振り返ってみれば、多くの外国人が地元の人たちとともに台北の歴史を作っていた、ということが、きっと分かるはずさ。」</p>
--------------------------	--

